

# 普及やいま

第92号

発行

八重山農業改良普及センター

沖縄県石垣市字大川100番地の3

☎0980-82-3497代

与那国駐在

☎0980-87-2354代

印刷・衛八島印刷

☎0980-82-3816

与那国島の  
パイン畑ふれあい市に出荷  
クシティと  
ヨモギ畑

県外出荷用カボチャ畑

消費者との交流会でふれあい市の  
イベント開催

JA 与那国前で常設の「ふれあい市」

## 与那国町における野菜の生産振興

### —地域農業振興総合指導事業の取り組み—

平成11年度から与那国町を濃密指導地域とし、地域農業振興総合指導事業の実施により、重点的に普及活動を展開しています。

農業振興の方策として、基幹作物であるさとうきびの生産振興を目指した反収及び品質向上対策や野菜類の展示圃設置による栽培技術の習得及び高度化、経営簿記講座の開催等を継続実施しています。

その中で島産野菜の可能性を探るため実施した農家意向調査では、野菜類の生産販売希望者や島産野菜の購入希望者が多いことがわかりました。島産野菜の生産拡大は以前からの課題でもあったことから、町内4戸の野菜生産農家が集まり、関係機関の支援もあって、平成12年11月に野菜生産組合が結成されました。

よなくに野菜生産組合(宮良正一組合長)は、島内自給率の向上を目指し、島内の需要に対応すべく少量多品目の生産に取り組んでいます。出荷先は、

JA 与那国に常設された「ふれあい市」を中心に与那国町給食センターや島内スーパー等です。今年度は組合員も7戸に増え、島外出荷品目として、値決め契約栽培で2haのカボチャ栽培に取り組み、去る1月27日に初出荷をすることができました。

よなくに野菜生産組合結成から2年が経過し、鮮度と日持ちの良さが評価され、給食センターでも季節の島産野菜を子供たちに食べさせたいと、積極的に取り入れるようになりました。このように、島産野菜が新鮮で安心、生産者の顔が見える商品として住民に広く理解されるようになり、「ふれあい市」・島内スーパーでも販売量が増えてきました。

今後の課題は、栽培品目の多い野菜を安定的に供給するためにも、栽培管理技術の習得や周年出荷体制の確立等、継続的な技術指導が必要となり、さらに、生産基盤の整備等、関係機関との連携を強化した総合的な支援策が重要となります。